

持続可能な未来への道

メーカー各社 SDGs の取り組み

Vol.02

オーデリック株式会社

今や、企業の共通言語となりつつあるSDGs。とりわけ、電設資材メーカーとの親和性は高く、2030年までに達成することを目指すSDGs17目標のうち「07:エネルギーをみんなにそしてクリーンに」「08:働きがいも経済成長も」「09:産業と技術革新の基盤をつくる」「11:住み続けられるまちづくりを」「12:つくる責任 つかう責任」「13:気候変動に具体的な対策を」などは、電設資材メーカーの企業活動そのものとも言えます。

そこで、全日電材連賛助会員の電設資材メーカー各社を順番に訪問し、その先進的な取り組みをご紹介します。



オーデリック株式会社概要

本社所在地	東京都杉並区宮前 1-17-5
設立	1951年6月14日
代表取締役社長	伊藤 雅人
従業員数	531名 (2023年3月31日現在)
事業内容	各種照明器具の製造および販売
H	P : https://www.odelic.co.jp



沿革

1951年	各種照明器具の製造および販売を目的として(株)大山金属製作所を東京都三鷹市に設立、同時に三鷹工場を設置し蛍光灯照明器具の製造、販売を開始。
1954年	蛍光灯放電点灯管(グローランプ)の製造を開始。
1956年	商号を大山電機工業(株)に変更。
1958年	白熱灯照明器具の製造を開始。
1961年	東京都羽村市に羽村工場を開設。
1973年	商号をオーヤマ照明(株)に変更。
1974年	東京都杉並区に本社事務所を設置。
1975年	本社事務所ビルにショールームを開設。
1986年	山形県東根市に山形物流センターを開設。(第1期工事完成)
1990年	兵庫県西宮市に西宮物流センターを開設。
1992年	山形オーヤマ照明(株)を吸収合併し、山形工場を設置。
1996年	商号をオーデリック(株)に変更。
1996年	日本証券業協会に株式を店頭登録。
2005年	アルモテクノス(株)(現・連結子会社)を買収。
2006年	山形工場および山形物流センターを会社分割により子会社化し、山形オーデリック(株)を設立。
2010年	(株)ジャスダック証券取引所と(株)大阪証券取引所の合併に伴い、(株)大阪証券取引所(JASDAQ市場)に上場。
2013年	(株)大阪証券取引所と(株)東京証券取引所の現物市場統合に伴い、(株)東京証券取引所(JASDAQ市場)に上場。
2019年	山田照明(株)(現・連結子会社)を買収。
2020年	株式公開買付により、(有)アマセクリエートが当社の親会社となる。
2020年	MBOに伴い株式を非公開化。
2021年	羽村オーデリック(株)を設立。
2022年	吸収分割により照明器具製造事業に関する権利義務を山形オーデリック(株)及び羽村オーデリック(株)に承継。親会社の商号をオーデリックヘッドクォーターズ(株)に変更し、持株会社体制に移行。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



多彩な照明器具で 「健康」「安全」「快適」「便利」を実現



第2回の訪問メーカー様は東
京都杉並区に本社を構えるオー
デリック株式会社様。本社ショー
ルームにおいて、今野政義取締役
開発本部長、土屋勝取締役営業副
本部長、亀谷研志品質管理ゼネラ
ルマネージャー、柴崎毅彦営業統
括ゼネラルマネージャー、井上大
将郡山営業所所長の5名にお話し
を伺いました。

(文中での敬称は略させていただきます。)



亀谷研志
品質管理
ゼネラルマネージャー

柴崎毅彦
営業統括
ゼネラルマネージャー

今野政義
取締役開発本部長

土屋勝
取締役営業副本部長

井上大將
郡山営業所所長

編集部 まずは、SDGsに取り

組むようになった背景を教え
ていただけますか。

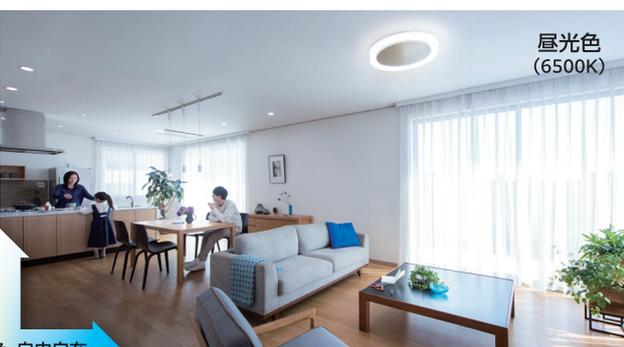
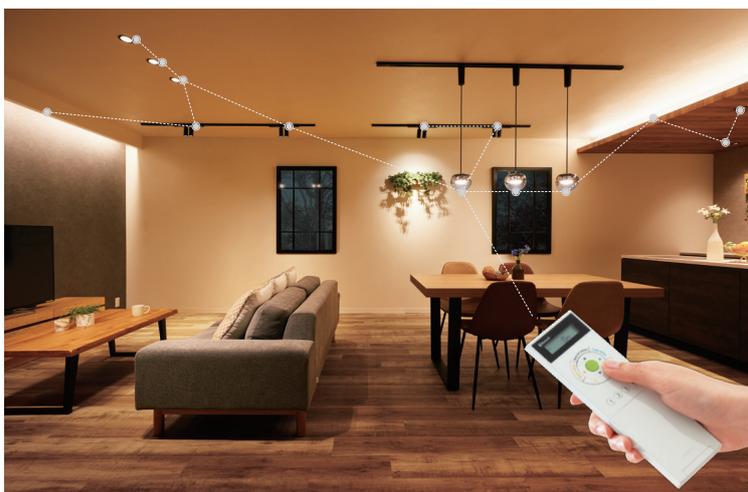
今野 当社が加盟している一般
社団法人日本照明工業会では、あかり文化の向上と脱炭
素社会への貢献を目指しながら、SDGs達成に向けた取
り組みを拡大・加速していく
「LIGHTING VISION
N2030」を共有ビジョンと
して掲げています。

そのビジョンでは、新時代の
あかりの概念として、従来の
空間を明るくする機能だけで
はなく、「健康」「安全」「快適」
「便利」という、4つのさらに
進化した価値をもたらす照
明を「Lighting 5.0」と
総称しています。

そこで、当社においても、
※「Lighting 5.0」を
目指した商品展開をしてい
こうというのが、SDGsに取り
組む事になった背景です。

※「Lighting 5.0」……従来1.0～4.0(1.0:人類が手にした最初のアかり(たいまつやろうそく、油、ガス灯などの炎)、2.0:白熱電球、3.0:放電灯、4.0:LED照明)に対し、「Lighting 5.0」とは、従来のあかるさを得るためだけの照明ではなく、「健康」「安全」「快適」「便利」な高付加価値な照明です。人を中心とした、さまざまなモノヤコトとつながる、Society 5.0(ソサエティ5.0)の社会に対応する次世代照明(日本照明工業会)

コネクテッドライティング



明るさ、光色、自由自在

サーカディアン照明



編集部 具体的にはどのような

商品になるのでしょうか。

今野 例えば、光で生体リズム

を整える助けをするがコンセ

プトの「サーカディアン照明」は

「健康」、人検知カメラ機能を

追加したエクステリアライトや

停電時に器具に内蔵された非

常用のあかりが自動点灯する

「住宅用非常灯付シーリング

R 15



太陽光



高演色LED[R15]



従来型LED

ライト」は「安全」、当社が誇
る高演色LED照明「R15」
は「快適」、自由自在な調光・
調色でシーンや空間の用途に
合わせた最適な照明環境をブ

編集部 「サーカディアン照明」

という言葉は初めて聞きました。

今野 ヒトの生体リズムという
のは、実は24時間(一日)より少
し長いのですが、朝に太陽の光
を浴び、夜は光を避けること
で、24時間に同調しています。

ところが、コロナ禍で屋外に
出ず、自然光を十分に浴びな
くなったことなどが理由で生
体リズムが乱れ、睡眠に問題
を抱える人が増えています。
そこで、必要な時間に必要
な光を人工的に再現し、生体リ
ズムを整える助けをするとい
うのが「サーカディアン照明」
の考え方です。福井大学との
共同研究により開発しまし
た。

SDGsの達成目標として
は、「3…すべての人に健康と
福祉を」に当てはまります。

編集部 「R15」についても簡単
にご説明いただけますか。

今野 かつてLEDの弱点と言
われた肌の色の細かな差異や
唇の赤、日常に存在するあら
ゆるものの色について、発光効
率を落すことなく美しく表現
することを実現したのが「R
15」です。JISで定める平均
演色評価数は「Ra94」とシク
ラス2級の基準を満たしていま
す。

オーデリックの「R15」は、明
るさそのままに高い演色性、
従来品と変わらない価格、主
照明から演出用のあかりまで
豊富なラインナップ（全製品の
半数以上）が特長です。

編集部 商品展開以外の取組み
についてはいかがでしょうか。

亀谷 SDGsを意識して始め
た事ではなく、ISO1400
1を当社山形工場（2000

年）と羽村工場（2003年）
で取得したことをきっかけと
して、全社的に環境問題に対
して様々な取り組みを行って
います。

一部をご紹介しますと、包装
材料の廃ビニル・廃プラスチック
等のリサイクル化・有価物化
などによる廃棄物排出量の低
減、製造工程の歩留まり改善、
活性炭追加による工場排水の
浄化を目的とした石油由来の
有機溶剤の削減、工場を含め
た照明器具のLED化、人感セ
ンサーやタイマーを使ったエコ
照明の社内活用、太陽光発電
システムやサーバー機器の消費
電力へのグリーン電力（年間1
0,000kWh）導入による
CO₂削減、クールビズ／ウォー
ムビズ、ライトダウンキャンペーン
への参加が挙げられます。
SDGs達成目標としては、
11…住み続けられるまちづく
りを、12…つくる責任 つかう
責任、14…海の豊かさを守る

う、15…陸の豊かさを守る
うなどに当てはまります。

■将来の展望と課題

編集部 SDGs達成に向けて
の課題といますか。

今野 やはり商品開発にあたっ
ては材料費の高騰と為替リス
クがネックになっています。特
に照明器具用のガラスは輸入
品頼みのため、ここ最近の歴史
的円安水準による輸入価格上
昇の影響が直撃し、非常に厳
しい状況です。

もう一つは業界全体の課題
です。全ての蛍光灯照明器
具の製造・輸出入は2027
年末（コンパクト蛍光灯は
2026年12月末）までに終
了することが決まっています
が、現在、市場にはかなりの数
の蛍光灯が設置されており、
その数は6〜7億台にもほ
るとみられています。これだ
けの数のLED化を推し進め

るには、我々メーカーだけでな
く、電材卸業界、電気工事業
界を含めた業界挙げて取り組
んでいく必要があると考えて
います。

土屋 なかなかLED化が進ま
ない要因の一つとして、都心部の
オフィスによくあるシステム天
井などは器具交換が難しいの
です。そのため、そのままの状
態にされていることが多いので
JLMA301に適合した光
源を選ぶことを、選択肢の一つ
と考えてほしいと思います。

編集部 将来的なSDGsの取
り組みの展望をお聞かせいた
いただけますか。

今野 「Lighting 5.0」
に基づく「健康」「安全」「快
適」「便利」、またそれ以上の
付加価値を照明器具で実現
できるはずだと我々は考えて
います。オン・オフだけでなく付
加価値のある照明器具の開発
をこれからも続け、SDGsに
貢献できればと思います。



SDGs

いちおし
商品



『ゼロエネルギーコントロール』



『サーカディアン照明』

ゼロエネルギー
コントロール

サーカディアン照明

井上 家庭用の蓄電システム

と、ゼロエネルギーコントロール専用タブレットを併用することで、蓄電池の残容量に応じて、照明とエアコンを自動でコントロールし、より効率的に電気を使うことが出来ます。

照明器具はオーデリックのコネクテッドライティング対応機種、エアコンは各メーカーのエコネットライト対応機種、蓄電池は当社オリジナルのハイブリッド蓄電システム、もしくはニチコン製蓄電システム(トライブリッド型・単機能型)と連携することが可能です。

SDGsの達成目標としては、「7…エネルギーをみんなにそしてクリーンに」と「13…気候変動に具体的な対策を」に対応しています。

(28ページ参照)

SDGsの達成目標は「3…すべての人に健康と福祉を」

■SDGs商材を拡販するために電材卸会社へお願い

井上 各電材卸店様にタブ

レット端末やコネクテッドライティングの実機をお持ちして説明させていただき勉強会を開催しています。蓄電池の市場は現在、右肩上がりで成長していますが、まだまだ電材卸店様ルートでの販売は少ないと思います。是非、説明させていただきたく機会を頂き、電材卸業界での蓄電池市場を盛り上げていければと思います。



停電しても

「暗くならない」。

ZERO ENERGY CONTROL

停電時の不安は「0ゼロ」。
家のあかりを どんな時でも点灯できます。



蓄電池があれば

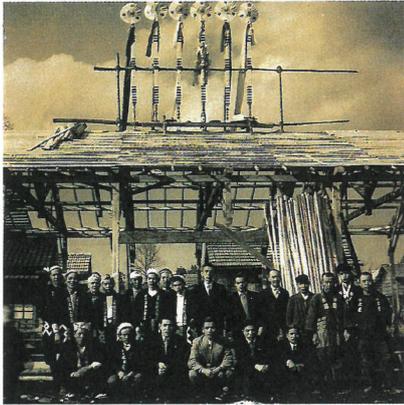
「安心&安全」

会社のお宝

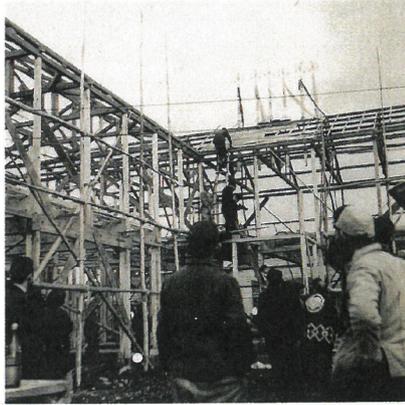
ご紹介



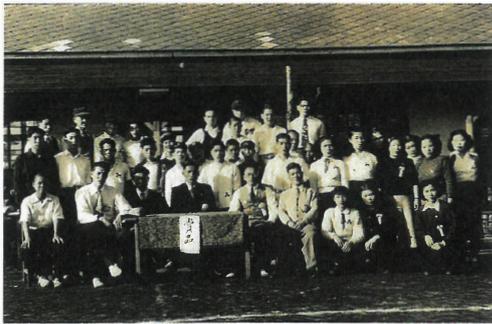
オーデリック株式会社は、わが国が復興期に入りつつある社会情勢、経済情勢を背景として、事業の拡大を目指し、昭和26年6月14日、株式会社大山金属製作所として設立されました。資本金140万円、代表取締役社長・大山幸一郎以下役員7名、従業員34名の陣容で、事務所および第1工場(25坪)は社長宅の庭に、また第2工場(51.75坪)は東京都三鷹市にありました。その当時のお宝写真です。



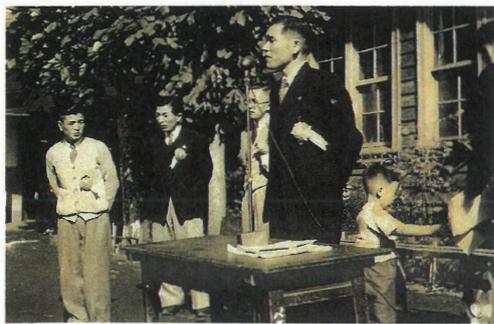
新工場の建前 昭和27年4月1日



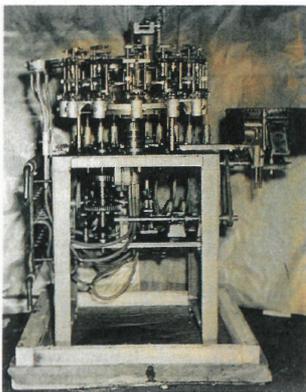
倉庫を増築・建前 昭和28年2月1日



初めての会社運動会(明星学園校庭にて) 昭和26年11月1日



運動会で挨拶する大山社長



グローランプ製造機



野球試合(日産厚生園) 昭和26年11月30日



点灯管の検査



全社員で海水浴へ(片瀬西浜海岸) 昭和27年8月2日